

ニュージーランドに

行ってきました！

平成25年度中学生 海外派遣事業報告



8月17日から27日にかけてニュージーランド(以下「NZ」)で中学生海外派遣事業を実施しました。派遣団は、佐賀中学校、大方中学校各6人計12人の生徒と、教育委員会1人、両中学校から1人ずつ、今回任期を終えて帰国するALITのローラの引率4人です。

◆17日(土)

早朝、佐賀庁舎に集合した派遣団一行は、派遣団生徒代表、武内初妃さん(大方中3年)が決意表明をしたあと、家族の見送りを受けてバスで高知空港に向かいました。

ここから飛行機で伊丹空港に、そこからリムジンバスで関西国際空港まで移動。初めての出国手続きにドキドキしながら、オークランドに向けて飛び立ちました。

◆18日(日)

現地時間の午前8時過ぎにオークランド空港に到着。日本とNZとの時差はプラス3時間とほとんどなく、気分を悪くする生徒もいませんでした。空港に昨年まで黒潮町のALITだったソニアさんが出迎えに来てくれました。

空港からロトルアまで貸し切りバスで移動。この日の昼食は、移動途中の町で各自がとりました。自分で選んで英語で注文するのですが、誰も困ることなく注文と支払いができました。

ロトルアでは、レインボー・スプリングス・キーウィ・ワイルドライフ・パークというNZ原産の動植物が集められた自然公園施設を見学。その後、先住民族のマオリの文化を守り伝えるマオリ村で、マ

オリの儀式と伝統芸能を鑑賞し、伝統料理ハンギ(蒸し焼き料理)の夕食をいただきました。

この日はロトルア湖畔のホテルに宿泊。窓からはところどころ水蒸気の噴き出す美しいロトルア湖が望めました。

◆19日(月)

一行はホテルを出発し、ハミルトン市フェアフィールド中学校へ。担当のイアン・バツク先生が出迎えてくれました。フェアフィールド中学校には約700人の生徒がいますが、その中のマオリ族の生徒たちが、マオリの伝統様式による歓迎式を開いてくれました。

その後生徒たちは教室に入り、引率者たちは校長先生に校内を案内してもらいました。何よりも驚くのは、日本の学校との施設内容の違いです。まず一番は、学校敷地がとても広いこと。平地が余るほどあるため、校内の建物はすべて平屋で、校庭もすべて芝生。子どもたちはほとんどがはだしで走りまわっています。

校内にはテレビ放送室やラジオ放送局があり、生徒が番

組を作るだけでなく、地域のコミュニティ放送局としても活用されているということでした。また大きなホールがあり、コンサートや集会が開かれています。日本のように、体育館をいろんなものに使いまわすのではなく、専用施設があるのが違いです。

生徒は授業に応じて教室に移動するので、先生が一カ所に集まる職員室はなく、休憩室を兼ねたミーティングルームがあります。先生方は毎日午前中の休憩時間には休憩室に集まり、コーヒーを飲んだりクッキーを食べたり30分ほどおしゃべりをします。その間生徒たちも、遊ぶ子もいれば持参のおやつを食べるなど、自由に過ごします。

午後3時ごろで授業は終わり、クラブ活動もないので、生徒たちはすぐに帰ります。

黒潮町の生徒たちは、この日から6泊7日、各ホームステイ先で過ごします。引率者たちの心配をよそに、生徒たちは元気に明るく、各家庭に去っていききました。

◆20日(火)

8時ごろ、黒潮町の生徒た



ロトルア湖畔にて



レインボー・スプリングス・キーウィ・ワイルドライフ・パーク



ハンギ(蒸し焼き料理)



マオリ族の儀式

ちは続々とホームステイ先の保護者と一緒に登校してきました。体調不良を訴える生徒はおらず、ひと安心。

イアン先生のESOL(英語を母国語としない生徒のためのクラス)の授業を簡単に受け、その後郊外の動物園へ。

学校に帰り、またイアン先生の授業です。さっき行った動物園にどんな動物や鳥がいたか、英語で答えさせるものです。そのあと、今日見聞きしたことを英語でまとめる宿題が出され、生徒たちは、ホームステイ先の子どもや保護者と帰っていきました。

◆21日(水)

今日も元気にみんな登校。まずESOL教室で昨日のイアン先生の宿題の報告から。そのあと生徒たちは、各自教室に入り授業を受けました。

◆22日(木)

登校したばかりの生徒たちの、ホームステイ先に作ってもらったお弁当を見させてもらいました。みんなサンドイッチに果物、クラッカーのよな簡単なものです。中には、マクドナルドのポテトフライ

に缶詰とインスタントみそ汁というのがあり、どうやって食べようか、と思うようなものもありました。

この日は授業の合間に、全校生徒の前での黒潮町を紹介するプレゼンとダンスの練習をホールで行いました。

その後授業をはさんで、午後はホールで近隣の高校ブラバンド部による演奏会が行われ、全校生徒が鑑賞しました。会場に入ってきた生徒たちは自主的に列になり整然と着席。演奏が始まると、静かな曲のときには静かに、アップテンポで賑やかな曲のときには大きく手拍子をしたり歓声を上げたりと、場面場面の切り替えが実に鮮やかに行われることに感嘆しました。

◆23日(金)

朝から全校生徒の前で、黒潮町生徒たちの発表会です。会場を埋め尽くしたフェアフィールド中学生と先生たちを前に、スライドを使って黒潮町の紹介を英語で行い、そのあと、ダンス(よさこいソーラン)を踊りました。昨日の練習の甲斐あって、気持ちのいいダンスができました。

◆24日(土)

生徒たちは各ホームステイ先の家族と自由行動。観光地に行ったり、スポーツの体験をしたり、楽しんだようです。

◆25日(日)

いよいよ、フェアフィールド中学校とも今日でお別れ。生徒を代表して杉本萌恵さん(大方中3年)がお礼とお別れの言葉を述べ、あちこちで別れを惜しむ姿が見られました。

この後バスでオークランドに移動、オークランド戦争記念博物館とスカイ・タワーの観光を行いました。

◆26日(月)

思い出深いNZを去る日が来ました。まだ暗いオークランドの町を、空港までバスで移動。ローラとはここでお別れです。

お土産と思い出がいっぱい詰まった荷物と一緒に、オークランドから成田空港に向けて飛び立ちました。

その日のうちに成田に到着し、成田空港横のホテルに宿泊。久しぶりの日本食に、なぜかホッとするみんなでした。

◆27日(火)

成田からバスで羽田空港に移動し、昼過ぎ高知空港へ。黒潮町バスに乗り、途中南国サーブスエリアで昼食、午後3時過ぎに佐賀庁舎に無事到着しました。

今回の研修では、大きなトラブルもなく、生徒たちも決められたスケジュール通りに行動ができました。

何より、生徒たちが堂々と会話し、現地の子どもたちやホストファミリーと打ち解けあっている姿に頼もしさを感じました。いい経験になったのではないかと思います。

今回海外派遣に参加した生徒の皆さんには、経験を自分だけのものにせず、まず家族に、そして友達にその情報と経験を伝えていただきたいと思います。その上で、今回の経験を今後の中学校生活、その後の人生に役立てていただき、国際的視野を持つだけでなく、日本を、郷土を愛する大きな心を持った、黒潮町を支える人物になってほしいと思います。

(NZ派遣団長・教育次長

畦地 和也)



よさこいソーラン大成功!



英語で黒潮町紹介



芝生の校庭



イアン先生のESOLの授業

「初めての外国」 佐賀中学校3年 大谷 琴湖

長かったようであつたという間だった11日間は、私にとって大切な日々でした。

研修の中で一番心に残っていることは、ホームステイです。私は英語があまり得意ではないので、ドキドキと不安でいっぱいでした。しかし、私のホームステイ先の人は、とても明るくて優しい家族で、すぐに馴染むことができました。Nicole、Kelly、Leaはバイトなどがあってあまり家にいませんでしたが、普通の家族のように接してくれました。私はいつもDanielと遊んでいました。お土産で持っていった日本のおもちゃを気に入ってくれて毎日折り紙の折り方を教えてあげたりして遊びました。

初めの方は何を言っているのか分からないことがたくさんありました。しかし、毎日英語を聞いたり話したりしていると、段々分かるようになって嬉しかったです。今回の海外派遣で日本では経験できないようなことをさせてもらえて、本当に感謝しています。この経験をこれからの人生に生かしていけたらいいなと思います。

「NZ研修を終えて」 佐賀中学校3年 河村未来乃

今回の研修は、最初は不安なことだらけでした。でも、ホームステイ先の家族はたくさん話しかけてくれて、すぐに打ち解けることができました。

フェアフィールド中学校で私が行ったクラスは、私より2、3歳年下のクラスでした。少し不安もあったけど、とても明るいクラスで、すぐにみんなと仲良くなれました。

フェアフィールド中学校での5日間は、自分から積極的に話かけられるようになり、たくさんの友達ができました。私は初対面の人と話すのは苦手だったけど、少しは変わったかなと思います。

去年私の家にホームステイした男の子は、高校生になっていました。でも、会いに来てくれてもう一度会うことができました。とても嬉しかったです。

短い期間だったけど貴重な体験がたくさんできました。研修を通して、成長できた所や考えが変わった部分もあります。この経験をこれからの生かしていきたいです。

「NZの語学研修について」佐賀中学校3年 黒田 右京

ぼくたちは、1週間NZでホームステイをさせていただいて、たくさんのことを学ばせてもらいました。

日本との文化や食べ物、生活様式の違いなど知らないことなどたくさんありました。それに話す言葉は英語だったのですごく苦労しました。でも英語を聞いたり、話したりしている中でその力がすごくついたと思っているし、知らなかったことなどたくさん知れたので、すごく知識も広がって本当にいい経験ができたなと思っています。

この年でこんな体験をすることは無いと思うので本当によかったです。この貴重な体験をこれからいろいろなことに生かしていきたいです。本当にありがとうございました。

「NZを振り返って」 佐賀中学校3年 竹中 蒼太

NZを振り返ってみると、今また行きたくなることばかり思い出されます。僕は行く前から楽しみで不安は一つもありませんでした。それは、今まで研修に行った人から話を聞かせてもらっていたからです。NZの学校では思っていた通り、みんなが笑顔でフレンドリーに接してくれ、またホストファミリーもすごく歓迎してくれ、僕を受け入れてくれたので、すごく安心して過ごすことができました。英語と日本語では思っていた通り言葉が通じないことは不便でしたがそれでもなんとか伝えようとお互いがジェスチャーやコミュニケーションをとり合っていたのですごく仲良くなれたんだと思います。

僕がこの研修で一番感じたことは英語が上手に喋れなくてもコミュニケーションがとれば分かり合えるということです。僕は中学生で海外に行ける機会があったことに感謝し、これからの夢に役立てたいと思います。

「NZ海外派遣事業をして」佐賀中学校3年 永野 紀更

私は8月17日から27日までNZに行きました。そこで私が学んだことや、初めて知ったことは、日本と違い、誰でもすぐ仲良くしてくれて、恥ずかしがることがないことを学びました。そのおかげで、始めは打ち解けられなかったけどジェスチャーでなんとか通じるので、たくさん話をして積極的になれるようになり、自信ができました。

初めて知ったことは、たくさんありすぎて、びっくりすることだらけだったけど、私のホストファミリーのおばあちゃんはマオリ語が話せて、マオリ語を教えてもらって、英語には全然似ていなくて難しいことを知りました。

これからの英語の学習で、積極的に英語を話していくことを、実践していきたいし、いつかまた絶対NZに行きたいです。

「これからの私」 佐賀中学校3年 森田きらり

11日間のNZ研修で文化の違いや言葉の難しさ、そして日本の豊さや家族のありがたみを改めて感じることができました。

私は文化の違いに一番驚きました。冬でも半そででは当たり前で、中学生はほとんど裸足で体のつくりが違うなと感じました。食べ物は、主に一食だけが多く一つでエネルギーを摂るようでビックリしました。生活の様子も違いがあって、お風呂にはあまり入っていませんでした。日本との差が激しくて最初はとても抵抗がありました。しかし、日が過ぎていくうちに文化を受けとめられるようになり、自然と慣れました。

私はこの貴重な体験をして将来は英語をペラペラに話せるようになりたいという意識が強まりました。言語が違うというだけで人間ってこんなに神経を使うのかと知ったので、よけいに話してやるという気合いも出ました。

短い時間でしたが多くのことを学び、経験できてとても良かったです。

「NZ研修を終えて」 大方中学校3年 金子 綾花

不安と期待の中始まったNZ研修。そこでは想像を遥かに超える経験をすることができました。

NZと言えば何を思い浮かべますか？羊、キウイ、いろいろあると思いますが、私はまず自然を思い浮かべます。NZの自然は日本とだいぶ違って高い木や草原が多かったです。他には食べ物や文化と、言っていけばきりがありません。日本にはない食べ物を食べたり、ホストファミリーやフェアフィールドの子と仲良くなれたり楽しいことがたくさんありました。また、水があまり使えなかったり、言葉に困ったり辛いこともありました。

でもそんな貴重な経験は、支えてくれた保護者と役場の方、受け入れてくれたホストファミリーのおかげだと思います。この感謝の気持ちを忘れず11日間の経験を生かして、いつか恩返しができる立派な大人になりたいです。ありがとうございます。

「NZ研修を終えて」 大方中学校3年 杉本 萌恵

私はこの研修を通して、英語の難しさや大切さを学びました。11日間という、長いようで短い研修期間でしたが、研修中はさまざまな活動や経験をしてきました。

その中で一番苦労したのは、会話です。根っから英語が苦手な私にとってこの研修参加を希望することは勇気がいりましたが、現地に着いてから慣れない英語で会話することは、もっと勇気がいりました。学校にいる間は、他のメンバーもいて不安はあまり無かったけど、ホームステイ先と合流して家に着くと日本語を話せるのは私だけでホストファミリーは英語で話しているから、理解するのが大変で不安しかありませんでした。でも、みんな優しく、親切で、私のことを考えてくれていたのでとても過ごしやすかったです。この研修を通して、私は感謝の気持ちや、これからの将来、英語を話せる人の有利さを感じました。協力してくれた皆さんありがとうございました。

「海外派遣事業で学んだこと」大方中学校3年 武内 初妃

私は、今回海外派遣事業に参加できたことを本当に嬉しく思います。英語が飛び抜けて上手な訳じゃないのに合格できて本当に良かったです。

NZに実際に行ってみて感じたのは、やはり日本との違いでした。土地が広く1階建ての家ばかりで、フレンドリーな方がとても多かったです。フェアフィールド中学校でも、生徒が「HELLO」と言ってくれたり、手を振ってくれたり、とても嬉しかったです。教室や授業も日本とは全然違う感じで新鮮でした。

ホームステイ先のファミリーと過ごした1週間もとても心に残っています。ホストファミリーがとても優しくしてくれて、心配していたホームシックになりませんでした。

マオリのコンサートやキウイ、ラグビーの試合、スカイタワーなど見たりできて良かったです。この経験を英語のテストなどで生かしていけたらいいなと思います。

「NZで学んだこと」 大方中学校3年 徳廣英理香

私にとってこの11日間は、短かったと思います。たくさんの思い出や経験をする事ができて、とても楽しかったです。

私がこの11日間で学んだことは、「コミュニケーション能力の大切さ」です。NZに行くと、全部が英語で少し不安もあったけどわくわくしました。コミュニケーションを取らないと会話は始まらないし、楽しくないと思うので、コミュニケーションは大切なものだと思います。なので、私はホストファミリーにいろいろ話しかけたりしました。ホストファミリーが話しかけてくれた時はとても嬉しかったし、英語で会話しているのはとてもかっこいいなと思いました。夏休みとかにまた遊びに行きたいです。

この経験を今後に生かせるように頑張りたいし、この11日間の思い出や経験を忘れないようにしたいです。

また、NZに行ってホームステイがしたいです。

「NZ研修で学んだこと」大方中学校3年 濱中 倫瑠

私はこの11日間ですごく大切なことを学ぶことができました。初めての海外旅行で、それにホームステイということで最初はすごく不安でした。でもホストファミリーは私が不便にならないようにたくさん気を遣ってくれる本当にやさしい家族でした。ホームステイ中は毎日ハミルトンを案内してくれて、車中はホストマザーと4歳の子どもの歌声で毎日にごやかでした。

食事や生活スタイルや言葉もちろん違ったけど、ジェスチャーや簡単な英文だけで6日間を過ごすことができたので、少し自信がもてるようになりました。また、私がこんなふうに快く過ごせるように気を遣ってくれたホストファミリーにも本当に感謝しています。

また、マオリやオークランド博物館でも貴重な体験をし、NZについて深く知ることができたので最高の11日間でした。このことは一生忘れずに日々の生活を大切にしていきたいと思います。

「NZ研修を経て」 大方中学校3年 山本 光紅

私は、今年の夏11日間NZ研修という貴重な経験をする事ができました。

待ちに待った初日、長時間の飛行機での旅を終え、翌朝見たこともない異国の地へ初めて足を踏み入れました。見渡す限りの広大な牧草地で自然豊かでありながら、少し田舎から外れるとビルが建ち並び、いかにも海外というのを味わうことができました。いろいろな観光スポットにも行き、先住民族マオリの文化では、国全体が一つとなり大切に受け継いでいる姿を見て魅了されました。

2日目からのホームステイや学校生活では楽しい分、人と接することの難しさや辛い経験もたくさんしました。

しかし、この経験を通し私には一つ高い壁を乗り越え、決して消えることのない一生の宝物を得ることができました。